

教授用資料

学年スコア平均

1年生・2年生で同時受験のケース
1・2年生の学力差がはっきりスコアに

複数学年で受験可能なので
学年差や学年毎の伸びがわかる

1年 学年スコア平均

2002年11月25日実施
エース高等学校

総合スコア平均	491 (900)																			
受験者数	語彙(150) 82					文法(150) 76					リーディング(300) 163					リスニング(300) 170				
	語彙・レベル別人数					文法・レベル別人数					リーディング・レベル別人数					リスニング・レベル別人数				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
166	1	89	76	0	0	15	111	39	1	0	11	84	67	3	1	1	68	97	0	0
	0.6%	53.6%	45.8%	0.0%	0.0%	9.0%	66.9%	23.5%	0.6%	0.0%	6.6%	50.6%	40.4%	1.8%	0.6%	0.6%	41.0%	58.4%	0.0%	0.0%

Suggestions for Teaching

語彙・指導例	文法指導例	リーディング指導例	リスニング指導例
<p>< 接頭辞・接尾辞の知識を与える > 簡単な接頭辞・接尾辞の知識を与える。たとえば、pre- = before, post- = after, prewar「戦前の」、postwar「戦後の」。定期的に時間を置き、確認テストを行う。</p>	<p>< 文法項目の実例を突撃させる > わかりやすい物語など、長めの文章を用意する。目標の文法項目(たとえば受動態など)を決める。生徒に目標文法項目が文章中にどのくらい使われているかを数えさせて、使われている文を表にさせる。生徒を3人程度のグループに分ける。互いの表を比べさせる。判断に違いがある場合、それをディスカッションさせる。グループごとに結果を発表させ、指導する。既習文法項目が実際にどのくらい、どのように使われているのかを生徒に実感させるための教授法である。</p>	<p>< 情報収集の力を付ける > 生徒に読ませる文章を選び、そのタイトルだけを板書する。タイトルをもとに、これから読む文章がどのような内容か推測させ、その要点をメモさせる。メモは生徒の学力に応じて英語でも日本語でもよい。生徒を3人程度のグループに分ける。内容について討論させ、各グループのリーダーにまとめさせて発表させる。要点を英語で黒板にリストする。生徒に書き取らせる。文章を配布する。制限時間を決め、文章を読みながら、リストされた要点のうち内容に合致したものをマークさせる。クラス全体で討論する。</p>	<p>< 大量把握をする力をつける > 生徒を3人程度のグループに分ける。教科書導入として、録音教材を1回ずつ。リラックスして聞き流す程度でよい旨を伝える。聞き終えたら、頭に残っている語句を書き出させる。各グループのリーダーに、書き出した語句を発表させる。次々に板書する。音声をもう1回流す。書き出した語句が実際に本文中にあるかどうかを確認させる。出ていない単語については削除させる。再度音声を流す。書き出した単語のうち、重要なものを選択しマークさせる。どの単語が重要であるか、グループで討議させる。その後、クラス全体で討議する。重要単語だけを集中して聞くよう指示したうえで、もう1回音声を聞かせる。</p>

2年 学年スコア平均

2002年11月25日実施
エース高等学校

総合スコア平均	526 (900)																			
受験者数	語彙(150) 90					文法(150) 89					リーディング(300) 174					リスニング(300) 173				
	語彙・レベル別人数					文法・レベル別人数					リーディング・レベル別人数					リスニング・レベル別人数				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
166	0	27	114	4	0	1	46	89	7	2	5	46	84	8	2	0	51	92	1	1
	0.0%	18.6%	78.6%	2.8%	0.0%	0.7%	31.7%	61.4%	4.8%	1.4%	3.4%	31.7%	57.9%	5.5%	1.4%	0.0%	35.2%	63.4%	0.7%	0.7%

Suggestions for Teaching

語彙・指導例	文法指導例	リーディング指導例	リスニング指導例
<p>< 単語のグループ分け > これまでに学習した単語をグループ分けさせる。大きめの紙を用意し、単語を書き写させる。生徒自身の判断にまかせ、互いに関係のある単語同士を線で結びながら「単語のネットワーク」を図式化させる。たとえばaccidental, aggressive, neglect, watch, althoughなどがあつた場合、ある生徒は1) accidentalとwatch、2) aggressiveとneglect、そして3) althoughの3つのグループに分けるかもしれない。できればそれぞれのグループにタイトルをつけさせる(可能なら英語で)。ある生徒は、1)にはcareful、2)にはperson、3)にはconjunctionというタイトルをつけるかもしれない。ある生徒は品詞別に分けるかもしれない。自主性にまかせる。新出単語を次々に書き足させて、最終的には習った単語を一覧できるようにする。</p>	<p>< 目標文法項目の自己チェック > 生徒が書いた作文をいくつか選ぶ。人数分のコピーを配る。目標文法項目(たとえば受動態など)を決める。生徒に目標文法項目に限ってのみ訂正するところがないかどうか、あるとすればどこをどのように訂正すべきなのかを討論させる。自分が書いた作文についても同じ作業を行わせる。1回につきひとつの文法項目に限ること。</p>	<p>< バラフレーズ(言い換え)の力をつける > 文法的に複雑な構文の文をリストする。日本語で解説しながら意味を理解させる。日本語訳を見ながら、なるべく簡単な自分の知っている単語と文法項目を使って、同じ文章の文を書かせる。もとの文と比較させる。生徒を3人程度のグループに分ける。解答を討論させる。各グループのリーダーに解答を発表させる。</p>	<p>< 総合技能を向上させる > 段階的ディクテーション(Graded Dictation) はじめに全文をふつつのスピードで読み上げる(録音教材を用いてもよい)。次に、各文を語句単位で短く区切りながら読み上げる(例: When I was / six years old, / I became / a schoolboy / like you.)。続いて、徐々に区切りを長くしながら読み上げを繰り返す。最終的には文単位で区切る。学習者は、読み上げられる音声を聞き取る。最後に、ふつつのスピードで全文を速く読み上げる。</p>

リスニングはあまり伸びず
リスニング指導にはあまり時間が
とれていないため

文法は13点の伸び1年間の成果

スコア順成績一覧

成績一覧(スコア順)		エース高等学校										
用紙番号	氏名	語彙(150)	文法(150)	リーディング(300)	リスニング(300)	総合スコア(900)	総合スコア%	語彙	文法	リーディング	リスニング	順位
992903	1年1組27番 山本 勇	112	120	273	217	722	80.2%	3	4	4	4	1
993954	2年3組5番 山本 勇	116	127	273	200	716	79.6%	4	4	4	3	2
992997	2年1組32番 山本 勇	100	114	273	211	698	77.6%	3	3	4	4	3
992982	2年2組10番 山本 勇	111	110	195	256	672	74.7%	3	3	3	5	4
993974	2年2組24番 山本 勇	88	99	243	224	654	72.7%	3	3	3	4	5
993987	2年2組32番 山本 勇	97	106	209	242	654	72.7%	3	3	3	5	5
992977	2年2組1番 山本 勇	97	110	224	211	642	71.3%	3	3	3	4	7
997942	1年3組6番 山本 勇	96	87	243	205	631	70.1%	3	3	3	3	8
993981	2年2組29番 山本 勇	94	99	209	211	613	68.1%	3	3	3	4	9
992970	2年1組18番 山本 勇	107	139	172	195	613	68.1%	3	5	2	3	9
995993	1年5組12番 山本 勇	105	106	243	158	612	68.0%	3	3	3	3	11
994965	1年2組34番 山本 勇	84	79	243	205	611	67.9%	2	2	3	3	12
992952	2年1組8番 山本 勇	88	96	209	217	610	67.8%	3	3	3	4	13
994940	2年3組28番 山本 勇	97	106	209	195	607	67.4%	3	3	3	3	14

文法・語彙正答率一覧

エース高等学校

A.C.E.文法・語彙問題学年別正答率一覧

・文法・語彙全設問について正答率を表示

A.C.E.モニターテスト集計資料2002/12

・1回のテストにつき48の項目で定着率を測定

問	キーワード	学年	50%	100%	正答率
1	language	中3	95.8%	93.9%	95.3%
2	take off (your shoes)	中3	73.0%	72.6%	70.6%
3	second (序数)	中3	85.2%	84.6%	88.0%
4	at once	高1	32.0%	35.7%	51.3%
5	belong to	高1	67.1%	82.5%	86.4%
6	spend	高1	63.5%	72.0%	82.6%
7	for example	高1	96.1%	94.2%	98.7%
8	ready	高1	77.4%	73.2%	80.1%
9	draw (you a map)	高1	55.5%	49.5%	64.6%
10	introduce	高1	86.6%	78.2%	86.4%
11	Be quiet (命令文)	高1	94.1%	94.5%	98.1%
12	finish -ing (動名詞)	高1	44.5%	46.2%	75.0%

前回との成績比較表

比較スコア一覧(学籍番号順)		エース高等学校									
		語彙(150)		文法(150)		リーディング(300)		リスニング(300)		総合スコア(900)	
氏名	学年	前回/今回/差	前回/今回/差	前回/今回/差	前回/今回/差	前回/今回/差	前回/今回/差	前回/今回/差	前回/今回/差	前回/今回/差	
2年組24番		74 97	23 100	93 -7	180 195	15 156	217 91	510 602	92		
2年組25番		54 74	20 64	56 -8	144 151	7 166	198 0	428 447	19		
2年組26番		71 85	14 78	87 -11	162 140	-22 134	151 17	443 463	20		
2年組27番		71 79	8 92	79 -13	182 181	-1 151	195 44	476 614	38		
2年組28番		67 82	15 80	71 -9	162 129	-33 166	166 0	475 448	-27		
2年組29番		78 85	7 100	85 -15	171 172	1 194	178 -16	543 520	-23		
2年組30番		78 85	7 80	82 -2	153 183	30 145	166 21	456 518	60		
2年組31番		85 91	6 96	82 -14	200 181	-39 161	166 5	542 500	-42		
2年組32番		63 74	11 78	77 -1	153 94	-59 140	166 26	432 411	-21		
2年組33番		74 85	11 72	77 5	162 209	47 171	182 11	479 553	74		
2年組34番		78 71	-7 72	74 2	91 172	81 151	155 4	392 472	80		